

## 「Doodle 図式の一般化と交換子関係式」

講師：鎌田聖一 先生 (大阪大学)

日時：8月18日(水) 14:00～ 場所：4号館 小講義室1

### 概要

平面または球面上のいくつかの閉曲線のはめ込みによる像で、多重点が横断的に交わる2重点のみであるものを Doodle 図式という。1角形の生成と消去(1型 R 変形)と2角形の生成と消去(2型 R 変形)を有限回施して移り合う図式を(doodle として)同値であるとみなして、その同値類のことを doodle という。この概念は、R. Fenn と P. Tayler (1979) により導入され、M. Khovanov (1997) により再定式化された。講演者と A. Bartholomew, R. Fenn, N. Kamada は、一般の有向閉曲面上の doodle 図式を考え、その安定同値類が、仮想交点を許した平面上の doodle 図式の同値類(仮想 doodle)と対応がつくことを示した。この講演の前半で、上の関係について説明し、後半では球面上の doodle 図式と自由群の交換子関係式との関係について解説する。

世話人：鎌田直子 (内線：5854)